

MIT
Technology
Review

Innovators Under 35 Japan

MIT Technology Review Japan
Kadokawa ASCII Research Laboratories, Inc.

Innovators Under 35とは

Innovators Under 35(35歳未満のイノベーター)は、才能ある若きイノベーターたちを讃え、その活動を支援することを目的としたMITテクノロジーレビュー主催の世界的なアワードです。

MITテクノロジーレビューが考えるイノベーションとは、新しい技術の開発または既存の技術の創造的な応用によって、グローバルな課題に取り組むこと。特定分野や業界だけでなく、世界全体にとって重要かつ独創的なイノベーターを紹介することが、Innovators Under 35の狙いです。

Innovators Under 35の第1回は1999年に始まり、現在はグローバル版に加えて、アジア、中国、欧州、インド、ラテンアメリカ、MENAのローカル版が各地域のパートナーとともに開催されています。

MITテクノロジーレビュー[日本版]は、2020年に世界で7番目のローカル版として、「Innovators Under 35 Japan」を初めて開催しました。第二回となる2021年度は、7分野から15名のイノベーター選出します。

超少子高齢化、労働人口減少、社会インフラ老朽化など、多くの社会課題を抱える日本からテクノロジーを使って課題解決に貢献する人材を発掘し、世界へとつなぐ橋渡し役となることを目指します。



参考画像(海外事例)

MITテクノロジーレビューとは

MITテクノロジーレビューは全世界のビジネスリーダーが愛読。
人類が抱える課題を解決するテクノロジーを
世界に伝えるメディアです。

現代の高度なテクノロジー文明は、さらに進化を加速させています。ロボット工学、医学生物学、エネルギーの新しいアイデアにより、人類は不老不死さえ手に入れる勢いです。しかし、人類のテクノロジーによるさまざまな実践は、誇張された表現や専門用語、あるいは不正確な報告によって隠されてしまっています。

MITテクノロジーレビューは、米国マサチューセッツ工科大学（MIT）によって1899年に創設された世界で最も歴史と権威があるテクノロジー誌。「私たちの世界をテクノロジーがどう形作っているか」を理解する知見を読者に提供することを目指し、高い知性に基づく明確で信頼に値する選別眼を読者に提供します。

MITテクノロジーレビューは、人類の課題を解決するために知るべき価値のあるテクノロジーを伝えるメディアです。



ページビュー 500,000 PV / Month
ユニークユーザー 100,000 PV / Month
会員数 約70,000人

日本版 媒体概要

【名称】MITテクノロジーレビュー
【URL】<https://www.technologyreview.jp/>
【形態】会員登録・有料購読制のオンラインメディア
【料金プラン】年額14,800円 / 月額1,480円
【創刊日】2016年10月1日
【運営会社】株式会社角川アスキー総合研究所

グローバル版と日本版の関係

各ローカル版の受賞者は、世界的なイノベーターをいち早く発掘、
 発信してきたグローバル版にノミネートされます。

各地域のパートナーが開催

ローカル版

- Japan
- China
- India
- Asia Pacific
- MENA
- Latin America
- Europe

各地域の受賞者がノミネート

グローバル版@MIT

MITの100%子会社が開催

過去のおもな受賞者



Daniel Ek
Global 2012
Spotify



Sergei Brin
Global 2002
Google



Mark Zuckerberg
Global 2007
Facebook



Leah Busque
Global 2013
TaskRabbit



Drew Houston
Global 2012
Dropbox



Max Levchin
Global 2002
Paypal



Caroline Buckee
Global 2013
Harvard School of Public Health



Maria Nunes Pereira
Global 2014
Researcher

グローバルサイト

<https://www.innovatorsunder35.com/>

Innovators Under 35 Japan募集要項

第二回となる2021年度は、＜7分野＞から＜15名＞のイノベーター選出します。

対象分野	コンピューター／電子機器	量子コンピューター、IoT機器、VR／AR機器、カメラ、ディスプレイなどのデバイス等
	ソフトウェア	OS、ミドルウェア、アプリケーション(スマホアプリ含む)、ブロックチェーンなどの暗号技術等
	インターネット	インターネットを利用したサービス、Webサイト、および関連技術等
	【新設】通信	5G、通信衛星、量子ネットワーク、放送関連技術、光伝送技術等
	AI／ロボット工学	機械学習／深層学習などのAI技術、産業用／家庭用ロボット、自律運転車等
	輸送(宇宙開発含む)	人工衛星／宇宙船の開発・運用、宇宙探査、宇宙利用サービス、物流、ドローン等
	【新設】エネルギー／持続可能性	風力／太陽光発電、小型原子炉、蓄電池、冷暖房、淡水化、バイオマス等
応募対象	大学、スタートアップ企業、大企業、政府機関、非営利団体などに属する研究者、技術者、起業家、活動家等。 2021年12月1日時点で35歳未満(1986年12月2日以降に生まれた人)の方。	
応募方法	専用の応募フォームから応募者本人が応募。 ※別途、「情報提供フォーム」からの他薦も受け付けています。その場合も、最終的には本人による応募が必要です。	
選考方法	MITテクノロジーレビュー(グローバル)が定める世界共通基準に則り、該当分野の国内の専門家(専門機関の研究者、大学教授など)が審査を実施。最終的にはMITテクノロジーレビューが決定	
選出人数	15人(予定)	

応募フローと全体タイムライン

各分野で第一線で活躍しているの専門家と編集部(日本版・グローバル版)による
厳正かつ公正な選考を経て受賞者を決定します。

8月末 まで	応募	応募理由や応募分野、リファレンス(推薦人)など、 必要事項を専用の応募フォームに入力して提出。
9月中旬 まで	事前審査	応募者が基準を満たしているか、事務局で確認。 通過者にのみ、活動内容説明書やリファレンス・レター(推薦状) などの追加資料の作成・提出を依頼します。
10月初旬 まで	専門家審査	MITテクノロジーレビュー(グローバル)が定める世界共通基準に則り、該当 分野の国内の専門家が審査を実施。
11月中旬 まで	決定	専門家審査の結果をもとに、 MITテクノロジーレビューが受賞者を決定し、本人に通知。
12月	発表	プレスリリースおよびMITテクノロジーレビュー[日本版] Webサイト、InnovatorsUnder35.com(グローバルサイト) にて受賞者を発表。
12月	授賞式	「Innovators Under 35 Japan Summit」(都内で開催予定)にて トロフィーを授与。 受賞者にはショートプレゼンを実施していただきます。

Innovators Under 35 Japan募集要項

分野拡大に伴い、15名体制での審査を予定しております。(敬称略)



コンピューター／電子機器

石井 裕

MIT教授
MITメディアラボ副所長

Hiroshi Ishii



コンピューター／電子機器

村上憲郎

大阪市立大学大学院 教授

Norio Murakami



コンピューター／電子機器

渡辺美代子

科学技術振興機構 副理事

Miyoko Watanabe



ソフトウェア

浅川智恵子

日本科学未来館館長
IBMフェロー

Chieko Asakawa

Innovators Under 35 Japan募集要項

分野拡大に伴い、15名体制での審査を予定しております。(敬称略)



ソフトウェア

古川 享

マイクロソフト初代社長

Susumu Furukawa



インターネット

會田 隆太郎

日本MITベンチャーフォーラム理事長
日本MIT会（同窓会）理事

Ryutaro Aida



インターネット

村井 純

慶應義塾大学 教授

Jun Murai



通信

森川博之

東京大学大学院工学系研究科 教授

Hiroyuki Morikawa

Innovators Under 35 Japan募集要項

分野拡大に伴い、15名体制での審査を予定しております。(敬称略)



通信

登 大遊

IPA産業サイバーセキュリティセンター サイ
バー技術研究室室長

Daiyuu Nobori



AI/ロボット工学

中島秀之

札幌市立大学 理事長・学長

Hideyuki Nakashima



AI/ロボット工学

石黒 浩

大阪大学大学院 基礎工学研究科 教授 (栄誉
教授)

Hiroshi Ishiguro



AI/ロボット工学

北野宏明

ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表
取締役社長・所長

Hiroaki Kitano

Innovators Under 35 Japan募集要項

分野拡大に伴い、16名体制での審査を予定しております。(敬称略)



輸送（宇宙開発を含む）

松尾亜紀子

慶應義塾大学理工学部教授

Akiko Matsuo



輸送（宇宙開発を含む）

森 正弥

デロイト トーマツ コンサルティング 執行役員
パートナー

Masaya Mori



持続可能性／エネルギー

所 千晴

早稲田大学理工学術院 教授
東京大学大学院工学系研究科 教授

Chiharu Tokoro

Coming soon

ご不明な点は担当者までお知らせください

◎連絡先

株式会社角川アスキー総合研究所

MITテクノロジーレビュー IU35事務局

吉岡健太郎 yoshioka.kentaro@technologyreview.jp / 080-3931-0113

◎日本版公式サイト

<https://events.technologyreview.jp/IU35/>